

1.	④	11.	②	21.	④	31.	②	41.	④
2.	②	12.	①	22.	④	32.	④	42.	④
3.	④	13.	④	23.	②	33.	③	43.	④
4.	①	14.	②	24.	②	34.	④	44.	②
5.	④	15.	③	25.	②	35.	④	45.	④
6.	④	16.	③	26.	②	36.	①	46.	④
7.	④	17.	①	27.	①	37.	④	47.	③
8.	④	18.	③	28.	④	38.	①	48.	③
9.	③	19.	②	29.	③	39.	③	49.	②
10.	①	20.	④	30.	①	40.	④	50.	④

1.

解答 ④

【解説】

正解は④の「～に反対して、～を相手に」です。前置詞の『**against**』は、「対立」や「抵抗」を中核的なイメージとして持っています。そこから様々な意味に発展しますが、最もよく使われるのが、意見や計画などに「～に反対して、～に逆らって」という意味です。また、スポーツの試合などで「～を相手にして、～と対戦して」という意味でも頻繁に使われます。例えば、"**Japan played against Brazil.**" (日本はブラジルと対戦した) のように使います。他の選択肢は、それぞれ全く異なる意味を持つ前置詞や表現が対応します。①「～に賛成して」は '**for**'。②「～なしで」は '**without**'。③「～の代わりに」は '**instead of**' となります。

◆補足：『**against**』には、物理的に「～に寄りかかって、～にもたれて」という意味もあります。例えば、"**He was leaning against the wall.**" (彼は壁に寄りかかっていた) のように使います。これも、壁と彼が「対抗」して支え合っている、と考えるとイメージしやすいかもしれません。このように、前置詞は中心的なイメージを掴むと、多様な意味を理解しやすくなります。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②の '**crash**' で、名詞として「(乗り物の) 衝突事故」、動詞として「衝突する、墜落する」という意味を持ちます。特に、大きな音を立てて激しくぶつかる様子を表します。'**He was involved in a serious car crash.**' (彼は深刻な自動車衝突事故に巻き込まれた)。他の選択肢は、① '**clash**' が「(意見などの) 衝突」、③ '**crush**' が「～を押しつぶす」、④ '**cash**' が「現金」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：コンピュータが突然動かなくなる「フリーズ」のことも`crash`とすることがあります。`My laptop crashed again.`（ノートパソコンがまたクラッシュした）。`a plane crash`（飛行機の墜落事故）。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④の`charge`で、非常に多くの意味を持つ単語です。準2級レベルでは、名詞として「料金、請求金額」や「責任、担当」、動詞として「～（代金）を請求する」や「～を充電する」といった意味を押さえておくといいでしょう。名詞の例: `The charge for admission is 500 yen.`（入場料は500円です）。動詞の例: `I need to charge my phone.`（携帯電話を充電する必要がある）。他の選択肢は、①`change`が「変化、おつり」、②`chance`が「機会」、③`chart`が「図表」という意味です。

◆補足：`in charge of`で「～を担当して」、`free of charge`で「無料で」という重要な熟語になります。クレジットカードでの支払いを`charge`することや、スポーツで「突進する」という意味もあります。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「(天候・味が) 穏やかな、軽い」です。`mild`は形容詞で、激しさや厳しさがなく、穏やかで優しい状態を表します。気候が「温暖な」こと、味が「まろやかで」刺激が少ないこと、人の性格が「温和な」ことなど、幅広い対象に使われます。`This cheese has a mild flavor.`（このチーズはまろやかな風味だ）。`He is known for his mild and gentle personality.`（彼は温和で優しい性格で知られている）。②「野生の」は`wild`、③「湿った」は`wet`や`humid`、④「厳しい」は`severe`や`harsh`で、`mild`の対義語にあたります。

◆補足：`mild`は、病気の症状などが「軽い」ことを表すのにも使われます。`a mild fever`（微熱）、`a mild headache`（軽い頭痛）。

5.

解答 ④

【解説】

正解は④の`recycle`で、「～を再生利用する、リサイクルする」という意味の動詞です。使用済みの製品（紙、ガラス、プラスチックなど）を、原材料として再び利用することを表します。`This material can be easily recycled.`（この素材は簡単にリサイクルできる）。他の選択肢は、①`reduce`が「～を減らす」、②`reuse`が「～を再利用する」、③`remove`が「～を取り除く」という意味です。

◆補足：名詞形は`recycling`（リサイクル）です。`re-`（再び）と`cycle`（循環させる）が組み合わさった単語です。環境問題における3R（`Reduce`、`Reuse`、`Recycle`）は、英語でも重要なキーワードです。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「主な、主要な」です。`main`は形容詞で、たくさんあるものの中で、最も重要で中心的なものであることを示します。`The main entrance is on the other side of the building.`（正面玄関は建物の向こう側にあります）。①「男性の」は`male`、②「～を意味する」は動詞の`mean`、③「私の（もの）」は`mine`です。これらは発音が似ているので注意しましょう。

◆補足：`main`は、`principal`、`chief`、`primary`などと意味が似ていますが、最も一般的で広く使われる単語です。コロケーションとしては、`the main character`（主人公）、`the main course`（メインディッシュ）、`the main reason`（主な理由）などがあります。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の`require`で、「～を必要とする、要求する」という意味の動詞です。規則や法律、あるいは状況によって、何かが必要であることを示します。`All visitors are required to show identification.`（全ての訪問者は身分証明書の提示を求められる）。他の選択肢は、①`inquire`が「～を尋ねる」、②`acquire`が「（知識や技術など）を習得する」、③`retire`が「退職する」という意味です。

◆補足：`require`は`need`と意味が似ていますが、`require`の方がよりフォーマルで、規則などで「要求される」という客観的な必要性を表す場合によく使われます。名詞形は`requirement`（必要条件、要求事項）です。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「（車が）～をひく」です。`run over`～は、車などの乗り物が人や動物の上を通り過ぎて「ひく」という意味の句動詞です。`Be careful not to run over the cat.`（猫をひかないように気をつけて）。①「～を経営する」は`run`単体で、②「～に偶然出会う」は`run into`～、③「～から逃げる」は`run away from`～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`run over`には「（液体が）あふれる」という意味や、「（時間などが）超過する」という意味もあります。`The meeting ran over by 20 minutes.`（会議は20分超過した）。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を支える、支持する」です。動詞の`support`は、物理的に「～を支える」ことや、人、計画、意見などを精神的・金銭的に「～を支持する、支援する」ことを意味します。`The government should support small businesses.`（政府は中小企業を支援すべきだ）。`I completely support your decision.`（私はあなたの決定を全面的に支持します）。①「～を提案する」は`suggest`、②「～を供給する」は`supply`、④「～を仮定する」は`suppose`です。

◆補足：`support`は名詞として「支持、支援、支え」という意味でも使われます。`He has a lot of support from his family.`（彼は家族から多くの支援を受けている）。`supporter`は「支持者、後援者、サポーター」です。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を提出する」です。`hand in`は、宿題やレポート、申込書などの書類を、先生や上司、担当窓口など、しかるべき人や場所に差し出すことを意味します。`All students must hand in their essays by the deadline.`（全ての学生は締め切りまでにエッセイを提出しなければならない）。②「～を手伝う」は`give a hand`、③「～を配る」は`hand out`、④「～を手渡す」は`hand over`などがそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`hand in`とほぼ同じ意味で`turn in`という句動詞も使われます。特にアメリカ英語では`turn in`が好まれる傾向があります。目的語が`it`や`them`のような代名詞の場合は、`hand it in`や`turn it in`のように、動詞と副詞の間に置くのが一般的です。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②の`head for`で、「～に向かう、～を目指して進む」という意味です。動詞として使われる`head`には「頭を向ける」というイメージがあり、そこから特定の方向へ進むことを表します。`It's getting late. We should head for home.`（遅くなってきた。私たちは家路につくべきだ）。他の選択肢は、①`head off`が「～を阻止する」、③`come from`が「～の出身である」、④`leave for`が「～へ向けて出発する」という意味です。`leave for`が出発の動作に焦点を当てるのに対し、`head for`は向かっているという方向性そのものに焦点を当てます。

◆補足：`be heading for ~`のように進行形で使われることも多いです。`The storm is heading for the coast.`（嵐が沿岸に向かっている）。比喩的に、ある状況に「向かっている」という意味でも使われます。`The company is heading for bankruptcy.`（その会社は破産に向かっている）。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「歴史」です。`history`は、過去の出来事、特に人間社会の変遷やその記録、またそれを研究する学問分野を指す名詞です。`She is studying European history at university.`（彼女は大学でヨーロッパ史を勉強している）。②「物語」は`story`、③「伝統」は`tradition`、④「謎」は`mystery`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：形容詞形は`historical`（歴史の、歴史上の）または`historic`（歴史的に重要な）です。`a historical novel`（歴史小説）、`a historic event`（歴史的な出来事）のように使い分けられます。歴史家は`historian`です。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「面接、インタビュー」です。`interview`は、名詞として、就職や入学のための「面接」や、記者などが特定の人に行う「会見、インタビュー」を意味します。`She was nervous before her job interview.`（彼女は就職の面接の前、緊張していた）。①「会議」は`meeting`や`conference`、②「討論」は`debate`や`discussion`、③「対話」は`dialogue`が適切な単語です。

◆補足：`interview`は動詞として「～に面接する、インタビューする」という意味でも使われます。`I was interviewed by three people.`（私は3人に面接された）。面接する人は`interviewer`、される人は`interviewee`と呼ばれます。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の『counter』です。この単語は、店や銀行、ホテルの受付などで、客と従業員がやり取りをするための、長くて平らな台、つまり「カウンター、受付台、売り場」を指します。日本語の「カウンター」と全く同じ感覚で使うことができます。他の選択肢も家具や設備を指す言葉ですが、用途が異なります。①の『desk』は、勉強や仕事をするための「机」。③の『table』は、食事をしたり物を置いたりする一般的な「テーブル」。④の『shelf』は、壁や棚ユニットに取り付けられた「棚」です。これらの単語は、場所や状況を描写する上で基本的な語彙となります。

◆補足：『counter』には、「計算機」や「(ゲームなどの) コマ」といった意味や、「反対する、反論する」という動詞の意味もありますが、英検準2級レベルでは、まず「店のカウンター」という基本的な意味をしっかりと押さえておけば大丈夫です。例文: "Please pay for your items at the counter over there." (あちらのカウンターで商品のお会計をお願いします。)

15.

解答 ③

【解説】

正解は③の`prove`で、「～を証明する、～だとわかる」という意味の動詞です。証拠や論理を用いて、何かが真実であることを示す行為を表します。`The experiment proved his theory to be correct.` (その実験は彼の理論が正しいことを証明した) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。

①`provide`は「～を供給する、提供する」、②`protect`は「～を保護する」、④`propose`は「～を提案する」という意味です。

◆補足：`prove`の名詞形は`proof` (証拠) です。`There is no proof that he committed the crime.` (彼がその罪を犯したという証拠はない)。また、`prove to be` ~の形で「(結果的に) ~だとわかる、判明する」という意味でもよく使われます。`The new method proved to be very effective.` (その新しい方法は非常に効果的だとわかった)。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③の`solution`で、「(問題などの) 解決策」や「(数学などの) 解答」を意味します。困難な状況や課題に対する答えや対応策を指します。`There is no easy solution to this complex problem.` (この複雑な問題に簡単な解決策はない)。他の選択肢は、①`selection`が「選択、精選品」、②`situation`が「状況、事態」、④`suggestion`が「提案」という意味です。

◆補足：`solution`の動詞形は`solve` (～を解決する、解く) です。`We need to solve this issue as soon as possible.` (我々はこの問題をできるだけ早く解決する必要がある)。コロケーションとしては、`find a solution` (解決策を見つける) や`offer a solution` (解決策を提示する) などがよく使われます。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「～かなと思う、不思議に思う」です。動詞の`wonder`は、何かについて確信が持てず、「～だろうか」と考えたり、好奇心から「不思議に思う」という心の動きを表します。`I wonder what he`

is doing now.' (彼は今何をしているのだろうか) のように使います。②の`wander`は「歩き回る、さまよう」という意味で、`wonder`とつづりが一文字違いで紛らわしいので注意が必要です。③「～を警告する」は`warn`、④「～を無駄にする」は`waste`です。

◆補足：`I wonder if you could ...`という形は、「もしよろしければ～していただけないでしょうか」と、相手に何かを頼むときの非常に丁寧な表現として使われます。名詞としての`wonder`は「驚異、不思議なもの」を意味し、`the Seven Wonders of the World` (世界の七不思議) など使われます。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③の`park`で、名詞として「公園、遊園地」、動詞として「～を駐車する」という二つの重要な意味があります。名詞の例: `Children are playing in the park.` (子供たちが公園で遊んでいる)。動詞の例: `You can't park your car here.` (ここに車を駐車することはできません)。他の選択肢は、①`part`が「部分」、②`path`が「小道」、④`dark`が形容詞で「暗い」という意味です。

◆補足：「駐車場」は`a parking lot` (アメリカ英語) や`a car park` (イギリス英語) と言います。「駐車違反」は`a parking violation`、「駐車違反切符」は`a parking ticket`です。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②の **terrible** で、「ひどい」「恐ろしい」といった非常にネガティブな状況を表す形容詞です。事故、天気、味、気分など、様々なものに対して使えます。この問題のポイントは、①の **terrific** との区別です。**terrible** と **terrific** は形がとてもよく似ていますが、**terrific** は「素晴らしい」「最高の」という意味で、**terrible** とは全く逆の意味になります。この2つは混同しやすい単語の代表例なので、必ずセットで覚えてください。③の **tired** は「疲れた」、④の **tiny** は「とても小さい」という意味です。

◆補足：**terrible** と同じように「ひどい」という意味で`horrible`や`awful`もよく使われます。これらも合わせて覚えておくと表現の幅が広がります。例文: `I had a terrible headache yesterday.` (昨日、ひどい頭痛がした)。**The weather was terrible.** (天気は最悪だった)。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④の`mean`で、「～を意味する、意図する、～のつもりで言う」という意味の動詞です。
`"Domo arigato" means "thank you very much" in Japanese.` (「どうもありがとう」は日本語で

「thank you very much」を意味します)。「I didn't mean to say that.」(そんなことを言うつもりはなかったんです)。他の選択肢は、①`mine`が「私のもの」、②`seem`が「～のように思われる」、③`lean`が「傾く」という意味です。

◆補足：`mean`の活用は`mean - meant - meant`と不規則に変化します。名詞形は`meaning`（意味）です。形容詞の`mean`には「意地悪な」という意味もあるので注意が必要です。`Don't be so mean to your little brother.`（弟にそんなに意地悪しないの）。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④の`fever`で、「(病気による) 熱、発熱」を意味します。体温が平熱より高くなっている状態を指します。`He stayed home from school with a high fever.`（彼は高熱のため学校を休んだ）。他の選択肢は、①`favor`が「親切な行為、好意」、②`flavor`が「風味、味」、③`forever`が「永遠に」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：「熱がある」は`have a fever`と言います。「熱を測る」は`take one's temperature`です。`fever`は病的な熱を指し、気温の「熱さ」は`heat`を使うので区別しましょう。`hay fever`で「花粉症」を意味します。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④の『rapid』です。この形容詞は、物事の変化や動きが、非常に「速い、急速な」様子を表します。`fast` や `quick` と似ていますが、『rapid』は、特に変化の速さや成長のスピードを表現する際に使われる、少しフォーマルな響きを持つ単語です。経済成長や技術の進歩など、ある程度の期間にわたる変化について述べるによく使われます。他の選択肢は、変化の異なる様子を表す形容詞です。①の『slow』は「遅い」、②の『gradual』は「徐々の、だんだんの」で、これらは『rapid』とは逆の概念です。③の『stable』は「安定した」という意味で、大きな変化がない状態を指します。

◆補足：名詞形は `rapidity` (速さ、迅速さ)、副詞形は `rapidly` (急速に) です。これらの派生語も重要なので、併せて覚えておきましょう。例文: "There has been a rapid increase in the number of foreign tourists visiting Japan." (日本を訪れる外国人観光客の数が、急速に増加している。)

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「診療所、クリニック」です。`clinic`は、入院設備がないか、あっても小規模な医療施設を指します。比較的軽度の病気やけがを診たり、歯科（`a dental clinic`）や眼科（`an eye clinic`）のように特定の分野を専門としたりすることが多いです。`The clinic is closed on Sundays.`（その診療所は日曜日は閉まっています）。①「薬局」は`pharmacy`や`drugstore`、③「臨床の」は形容詞の`clinical`、④「絶壁」は`cliff`です。

◆補足：大規模な入院設備や様々な診療科を持つ「（総合）病院」は`hospital`と呼び、`clinic`とは区別されます。`walk-in clinic`は「予約なしで入れる診療所」です。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「問題」です。`problem`は、「問題、難問、課題」を意味する名詞です。解決や対処が必要な、困難な状況や課題を指します。`I don't think that's a big problem.`（私はそれが大きな問題だとは思いません）。①「提案」は`proposal`や`suggestion`、③「番組」は`program`、④「過程」は`process`です。

◆補足：`No problem.`は「どういたしまして」「問題ないよ」という意味で、`You're welcome.`の代わりにも使われる口語表現です。`issue`も「問題」ですが、`issue`はより公的で議論されるべき「論点」というニュアンスが強いです。`solve a problem`（問題を解決する）。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②の`independent`で、「独立した、自立した」という意味の形容詞です。他からの支配、援助、影響などを受けずに、自分の力や考えで成り立っている状態を表します。`India became an independent country in 1947.`（インドは1947年に独立国となった）。他の選択肢は、①`different`が「異なる」、③`difficult`が「難しい」、④`indifferent`が「無関心な、冷淡な」という意味です。

◆補足：`independent`は、動詞`depend`（頼る、依存する）に、否定の`in-`と、性質を表す`-ent`が付いた形です。「頼っていない」→「自立した」と単語の成り立ちから意味を推測できます。名詞形は`independence`（独立、自立）です。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②の`grow`で、人や植物が「成長する、育つ」ことや、経済、人口、問題などが「増加する、大きくなる」ことを意味する動詞です。`The demand for electric cars is growing worldwide.`（電気

自動車の需要は世界的に増加している)。他の選択肢は、①`glow`が「(熱や光で) 赤くなる、光る」、③`throw`が「～を投げる」、④`blow`が「(風が) 吹く」という意味です。

◆補足：`grow`の活用は`grow - grew - grown`と不規則に変化します。名詞形は`growth`（成長、発展）で、`economic growth`（経済成長）というコロケーションは頻出です。`grow up`で「大人になる、成長する」という熟語になります。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「お返しに」です。`in return`は、「返礼として、見返りに」という意味の熟語で、何かをしてもらったり、もらったりしたことに対して、こちらも何かを返すという状況で使われます。`She helped me with my report, so I treated her to lunch in return.`（彼女は私のレポートを手伝ってくれたので、お返しに私が昼食をおごった）。②「順番に」は`in turn`、③「結局は」は`in the end`、④「詳細に」は`in detail`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`in return for`～の形で「～のお返しに」と、お返しの対象となる行為を明確にすることもできます。`He received a promotion in return for his hard work.`（彼は勤勉さの見返りに昇進した）。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「平均、標準」です。名詞の`average`は、複数の数値を合計してその個数で割った「平均、平均値」や、一般的で普通の「標準」を意味します。`The average temperature in this city is 15 degrees Celsius.`（この都市の平均気温は摂氏 15 度だ）。`His grades are well above the class average.`（彼の成績はクラスの平均をかなり上回っている）。①「年齢」は`age`、②「角度」は`angle`、③「利点」は`advantage`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`average`は形容詞として「平均的な、普通の」、動詞として「平均して～になる」という意味でも使われます。`the average person`（平均的な人）。`on (the) average`で「平均して、概して」という熟語になります。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③「世紀、100 年」です。`century`は「100 年間」を意味する名詞です。`The castle was built in the 15th century.`（その城は 15 世紀に建てられた）。①「国」は`country`、②「中心」は`center`、④「セント」は`cent`です。

◆補足：`century`は、`cent`（ラテン語で 100 を意味する）という言葉と関連があります。1 メートルが 100 センチメートルであるように、`centi`には「100」という意味が含まれています。これを手がかりにすると、`century`が 100 年であると覚えやすくなりますね。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「くつろいだ、リラックスした」です。`relaxed`は形容詞で、心身の緊張がほぐれ、穏やかな気持ちでいる状態を表します。`I felt so relaxed after the yoga class.`（ヨガのクラスの後、とてもリラックスした気分になった）。②「疲れた」は`tired`、③「退屈した」は`bored`、④「関連した」は`related`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`relaxed`は動詞`relax`（くつろぐ、～をくつろがせる）の過去分詞形が形容詞として使われているものです。人を主語にしてその感情を表します。一方、`relaxing`（くつろがせるような）は物事を主語にしてその性質を表します。`a relaxing holiday`（リラックスできる休日）、`I feel relaxed.`（私はリラックスしている）。この使い分けは重要です。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②の`repair`で、「～を修理する、修繕する」という意味の動詞です。壊れたり、故障したりしたものを、元の正常な状態に戻すことを指します。`It will cost a lot to repair the roof of the house.`（その家の屋根を修理するには多額の費用がかかるだろう）。他の選択肢は、①`prepare`が「～を準備する」、③`repeat`が「～を繰り返す」、④`replace`が「～を取り替える、～に取って代わる」という意味です。

◆補足：`repair`とほぼ同じ意味で`fix`や`mend`という動詞も使われます。`fix`は特にアメリカ英語でよく使われる口語的な表現です。`mend`はイギリス英語で好まれ、衣類のほころびなどを繕う場合によく使われます。名詞としても「修理」という意味で使われ、`under repair`で「修理中」となります。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の`own`です。「自分自身の」という意味の形容詞で、`my`、`your`、`his`などの所有格のすぐ後ろに置いて、「～自身の」と所有を強調する働きをします。例えば`my car`と言うだけでなく`my own car`と言うと、「（借り物などではなく）紛れもなく自分自身の車だ」という気持ちを込める

ことができます。① **only** は「唯一の」、② **real** は「本当の、本物の」、③ **single** は「ただ一つの」という意味の形容詞で、それぞれ文脈に応じて使い分けが必要です。

◆**補足**：`own` は「～を所有する」という動詞としても使われます。例: `He owns a large company.` (彼は大会社を所有している)。また、`on my own` や `by myself` は「独力で、一人で」という意味の重要な熟語です。例: `I finished the work on my own.` (私は一人でその仕事を終えた)。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③の`all year round`で、「一年中ずっと」という意味です。季節に関係なく、一年を通して何かを利用可能であったり、ある状態が続いたりすることを表します。`The island has a warm climate all year round.` (その島は一年中温暖な気候だ)。他の選択肢は、①`all day long`が「一日中ずっと」、②`around the world`が「世界中に」、④`one after another`が「次々と、相次いで」という意味です。

◆**補足**：`round`には前置詞として「～の間中ずっと」という意味があり、この表現ではその用法が使われています。`year`の部分进行他の期間を表す単語に変えることも可能です。`The shop is open all week round.` (その店は週の間ずっと開いている)。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の「出口」です。『exit』は、建物や部屋、乗り物などから「外へ出るための通路」、つまり「出口」を指す名詞です。劇場、駅、高速道路など、様々な公共の場所での表示を見かけますね。非常口は "emergency exit" と言います。他の選択肢は、それぞれ全く異なる意味を持つ単語です。①の「入口」は 'entrance' で、『exit』の明確な対義語です。この二つは、建物の案内表示で必ずセットで使われるので、ペアで覚えましょう。②の「入場」は 'entry' や 'admission'。③の「例外」は 'exception' です。

◆**補足**：『exit』は動詞として「退場する、退出する」という意味でも使われます。演劇で俳優が舞台から去る際の指示書きなどで見られます。しかし、日常会話で「外へ出る」と言う場合は、"go out" や "leave" を使う方が一般的です。まずは名詞の「出口」という意味をしっかりとマスターすることが大切です。例文: "The emergency exit is at the back of the bus." (非常口はバスの後方にあります。)

35.

解答 ④

【解説】

正解は④「標識、看板、合図、兆候」です。名詞の`sign`は、何らかの情報や意図を伝えるための目印となるもの全般を指す、非常に意味の広い単語です。道路の「標識」(`traffic sign`)や店の「看板」、手や体で示す「合図」(`a sign with the hand`)、そして何かが起こる前触れである「兆候」(`a sign of spring`)など、様々な文脈で使われます。①「場面」は`scene`、②「影」は`shadow`、③「光景」は`sight`です。

◆補足：動詞の`sign`は「(書類など)に署名する」という意味です。有名人からもらう「サイン」は`autograph`と言い、`sign`とは区別するので注意が必要です。`Please sign here.`(ここに署名してください)。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①の「調理法」です。『recipe』は、特定の料理を作るための材料や手順を詳しく書いたもの、つまり「レシピ」や「調理法」を指します。お料理が好きな方にはお馴染みの単語かもしれませんね。この単語を覚える上で特に注意したいのが、②の「領収書」を意味する`receipt`との混同です。スペルが似ており、どちらも日常生活でよく使われるため、テストでも狙われやすいポイントです。`receipt`の`p`は発音しない黙字(リシートのように発音)であることも、併せて覚えておきましょう。③の「報告書」は`report`、④の「繰り返し」は`repetition`となり、それぞれ全く異なる単語です。

◆補足：『recipe』は、料理の文脈だけでなく、比喩的に「(何かを成功させるための)秘訣、方法」という意味で使われることもあります。例えば、"What's your recipe for success?"(あなたの成功の秘訣は何ですか?)のように使います。まずは基本的な「調理法」の意味をしっかり押さえましょう。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④の`amazing`で、「驚くべき、すばらしい」という意味の形容詞です。信じられないほど素晴らしい、といった強い感嘆の気持ちを表します。`She has an amazing talent for music.`(彼女には音楽に対する驚くべき才能がある)。他の選択肢は、①`amusing`が「(人を笑わせるように)おもしろい」、②`awful`が「ひどい、恐ろしい」、③`ancient`が「古代の」という意味です。

◆補足：`amazing`は動詞`amaze`(~をひどく驚かせる)の現在分詞が形容詞として使われているものです。人が「ひどく驚く」という感情を表す場合は、過去分詞の`amazed`を使います。`We were amazed by the magician's tricks.`(私たちはその手品師の芸にひどく驚いた)。

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「視力」です。`eyesight`は、物を見る能力を指す名詞です。`eye`（目）と`sight`（見ること、視力）が組み合わさった単語です。`My grandmother has very good eyesight for her age.`（私の祖母は年齢の割にとっても視力が良い）。②「光景」は`sight`や`view`、③「視点」は`viewpoint`や`perspective`、④「監視」は`surveillance`が適切な単語です。

◆補足：`have good/poor eyesight`で「視力が良い/悪い」と表現します。視力検査は`an eyesight test`や`a vision test`と言います。`sight`だけでも「視力」を意味しますが、`eyesight`の方がより一般的で明確です。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③「ショッピングモール」です。`mall`は、多くの店舗やレストラン、時には映画館などが一つの建物や敷地内に集まった大規模な商業施設を指します。特にアメリカ英語で広く使われます。`The new mall has over 200 stores.`（その新しいモールには200以上の店が入っている）。①「壁」は`wall`、②「穴」は`hole`、④「小道」は`path`や`lane`が適切な単語です。

◆補足：元々`mall`は、散歩などのために作られた、並木道のある遊歩道を指す言葉でした。そこから、歩行者専用の商店街、そして現代の屋内外のショッピングモールへと意味が発展しました。`a shopping mall`や`a strip mall`（小規模な帯状のショッピングセンター）のように使われます。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「サケ、サーモン」です。`salmon`は、食用魚として人気の高い「サケ」を意味する名詞です。`I had grilled salmon for breakfast.`（私は朝食に鮭の塩焼きを食べた）。①「レモン」は`lemon`、②「メロン」は`melon`、③「サラダ」は`salad`です。

◆補足：`salmon`を覚える上で重要なポイントは、`l`の文字を発音しない黙字（サイレントレター）であることです。発音は「サーモン」ではなく「サモン」または「サマン」に近くなります。また、通常は単数形と複数形が同じ形で、数えられない名詞として扱われることが多いです。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④の`playful`で、「遊び好きな、陽気な、ふざけた」という意味の形容詞です。遊ぶのが好きで、元気いっぱいな様子を表します。`Dolphins are known to be intelligent and playful animals.`（イルカは知的で遊び好きな動物として知られている）。他の選択肢は、①`powerful`が「力強い」、②`painful`が「痛い」、③`peaceful`が「平和な」という意味です。

◆補足：`playful`は名詞`play`（遊び）に、`full`を意味する接尾辞`-ful`が付いてできた形容詞です。「遊び心でいっぱい」と考えると意味が分かりやすいですね。`a playful kitten`（遊び好きな子猫）。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④の`succeed`で、主に二つの意味があります。一つは「成功する」で、`succeed in ~`の形で「～に成功する」と表現します。もう一つは「(～の) 跡を継ぐ、継承する」で、`succeed to ~`（～の地位を継ぐ）や`succeed 人`（人の跡を継ぐ）の形で使います。`He worked hard and finally succeeded.`（彼は熱心に働き、ついに成功した）。`The prince will succeed to the throne.`（王子が王位を継承するだろう）。他の選択肢は、①`exceed`が「～を超える」、②`proceed`が「進む、続行する」、③`suggest`が「～を提案する」という意味です。

◆補足：名詞形が意味によって変わる点に注意が必要です。「成功」は`success`、「継承」は`succession`となります。また、成功した人は`a successful person`、後継者は`a successor`と言い、形が異なります。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④の`with care`で、「注意深く、丁寧に」という意味です。これは副詞の`carefully`とほぼ同じ意味で、物事を慎重に、細心の注意を払って行う様子を表します。`The antique vase must be handled with great care.`（そのアンティークの花瓶は細心の注意を払って扱わなければならない）。他の選択肢は、①`with ease`が「容易に、楽々と」、②`with courage`が「勇気をもって」、③`with confidence`が「自信をもって」という意味です。

◆補足：`with + 抽象名詞`の形は、副詞と同じ働きをします。この形を覚えておくと、表現の幅が広がります。例えば、`with patience`は`patiently`（忍耐強く）、`with skill`は`skillfully`（巧みに）とほぼ同じ意味を表します。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②の`ground`で、「地面、土地」や「運動場」、そして意見などの「根拠、理由」といった複数の意味を持つ名詞です。`The kids were playing on the wet ground.`（子供たちはぬれた地面で遊んでいた）。`She had good grounds for her complaint.`（彼女の苦情には十分な根拠があった）。他の選択肢は、①`around`が「周りに」、③`round`が「丸い」、④`sound`が「音」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：`underground`は「地下の」という形容詞や「地下鉄」という名詞になります。`on the ground that ...`で「…という理由で」という接続詞的な働きをします。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④の`audience`で、コンサート、劇、講演、映画などの「聴衆、観客」を意味します。集合的に扱われることが多いです。`The audience applauded loudly at the end of the performance.`（公演の終わりに、聴衆は大きな拍手を送った）。他の選択肢は、①`customer`が店などの「客」、②`client`が専門家への「依頼人」、③`passenger`が乗り物の「乗客」を指します。

◆補足：`audience`は`audio`（音声）と関連があり、元々は「聞く人々」という意味合いが強い言葉でした。テレビの「視聴者」も`audience`で表せます。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「賞、賞品」です。`prize`は、コンテスト、競技、くじなどで、勝者や優れた人に与えられる金品や名誉を指します。`The first prize is a trip to Hawaii.`（一等賞はハワイ旅行です）のように使います。①「価格」は`price`、②「価値」は`value`、③「税金」は`tax`です。つづりが似ている`price`と混同しやすいので注意が必要です。`price`は商品を買うために支払うお金、`prize`は競争に勝って得るものです。

◆補足：ノーベル賞は`the Nobel Prize`として世界的に有名です。コロケーションとしては、`win a prize`（賞を獲得する）、`a cash prize`（賞金）、`a consolation prize`（残念賞）などがあります。`award`も「賞」を意味しますが、より公式で、業績に対して贈られる賞というニュアンスが強いです。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③の`exercise`で、名詞として二つの主要な意味があります。一つは、健康や体力向上のための「運動、体操」です。もう一つは、学んだことを身につけるための「練習問題、演習」です。`Lack of exercise is a cause of many health problems.`（運動不足は多くの健康問題の原因だ）。`Please do the exercises at the end of the chapter.`（章の終わりの練習問題をやってください）。他の選択肢は、①`excitement`が「興奮」、②`experiment`が「実験」、④`explanation`が「説明」という意味です。

◆補足：`exercise`は動詞として「運動する」や「(権利など)を行使する」という意味でも使われます。`You should exercise regularly.`（あなたは定期的に運動すべきだ）。`take exercise`で「運動をする」という言い方もできます。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③の`examine`で、何かを注意深く「～を調べる、検査する」ことや、医者が患者を「～を診察する」ことを意味する動詞です。問題の原因や、物の状態を詳しく確かめるニュアンスがあります。`The mechanic examined the engine carefully.`（その整備士はエンジンを注意深く点検した）。他の選択肢は、①`exchange`が「～を交換する」、②`exercise`が「運動する」、④`explain`が「～を説明する」という意味です。

◆補足：名詞形は`examination`で、「調査、診察、試験」という意味です。これはしばしば`exam`と略されます。`You need to have a medical examination once a year.`（あなたは年に一度、健康診断を受ける必要がある）。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②の「詩」です。『poem』は、感情や思想、情景などを、リズムや韻、美しい言葉遣いなどを用いて表現した文学作品、つまり「詩」を指します。日本の俳句や短歌も、英訳される際には`poem`の一種として紹介されます。他の選択肢も、文学のジャンルを表す重要な単語です。①の「小説」は`novel`。③の「劇、戯曲」は`play`や`drama`。④の「随筆、エッセイ」は`essay`となります。これらの単語は、国語や英語の授業の文脈でもよく登場しますので、作品のジャンルを区別できるようにしておきましょう。物語全般を指す`story`との違いも意識できると良いですね。

◆補足：詩を書く人は`poet`（詩人）、詩全体や詩作という芸術分野を指す場合は`poetry`という単語を使います。`poem`が数えられる名詞（a poem, two poems）なのに対し、`poetry`は数えられない名詞として扱われるのが一般的です。この違いも、少しレベルが高いですが知っておくと役立ちます。例文: "He wrote a beautiful poem for his wife."（彼は妻のために美しい詩を書いた。）

50.

【解説】

正解は④の「(A に) 支払いをさせる」です。『pick A up』または『pick up A』は、非常に多くの意味を持つ重要な熟語ですが、中心的なイメージは「何かを拾い上げる、取り上げる」ということです。①「(人) を車で迎えに行く」は、人を車に乗せて拾い上げるイメージ。②「(落ちている物) を拾い上げる」は最も基本的な意味です。③「(言語や技術、知識などを) いつの間にか習得する」も、情報を拾い集めるイメージです。これらはすべて『pick A up』の正しい意味です。④の「(A に) 支払いをさせる」という意味はこの熟語にはありません。これは 'make A pay' などの表現を使います。多義語の熟語は、一つの意味だけでなく、文脈に応じて様々な意味を理解できることが重要です。

◆補足：他にも「(電話の) 受話器を取る」や、「(店の品物を) 買う」など、たくさんの意味があります。基本イメージの「拾い上げる」から、どのように意味が発展しているかを考えると、覚えやすくなるかもしれません。例文: "Could you pick me up at the station at six?" (6時に駅まで車で迎えに来てくれませんか?)
